

帯広信楽苑広報紙

きらきら



発行日
令和3年9月30日

発行責任者
施設長 伊藤 憲治

発行担当者
帯広信楽苑広報委員会

TEL 0155-49-6300

ホームページ
<http://www.shinsyukyoukai.jp>

<http://shinsyukyoukai.jp/>

9月15日に敬老会が行なわれました。午前中の式典では、喜寿2名、米寿3名の方に施設長から表彰状と記念品が贈呈されました。また90歳8名、95歳5名、100歳2名の方には記念品を贈呈しています。なんと！信楽苑には101歳の方が2名もいらっしゃいます。ですよ。皆さんいつまでもお元気でいてください。ね。

昼食ではお赤飯や天ぷらなどが提供され「美味しいね、またよろしくね！」と大好評で、皆さん笑顔で召し上がっていました。

昨年同様、感染症対策で慰問による催し物は中止となっていました。そんな中、信楽苑を元気にしたいと、施設内の利用者さんで結成された『慰問団体どんぐり』と5名の有志による歌と踊りが披露され、とても賑やかで笑顔に溢れた敬老会となりました。

(記事 松川えりか)

祝敬老 帯広信楽苑長寿番付

前頭	小結	大関	横綱	蒙御免	前頭	小結	大関	横綱
中山	榎野	脇野	田村	吉岡	桐山	中谷	脇坂	水谷
トサ	キク	キミ	ユキエ	キクエ	松枝	英子	留雄	サタ子
様	様	様	様	様	様	様	様	様
96歳	98歳	98歳	100歳	101歳	97歳	98歳	100歳	101歳

令和三年九月
施設長 伊藤 憲治



寶龍ラーメン



「コロナ禍での一番の楽しみと言っても過言ではない宝龍ラーメン慰問が2月16日に開かれました。」

1990年からお世話になり続け、なんと今回で31回目！一度も休むことなく提供していただいています。十勝では寒さの一番厳しい季節、身も心も温まる濃厚スープに絡まるプリプリ縮れ麺が利用者の皆さんに大変好評でした。普段は食が細くても、専門店の本格的な味わいでスープまで堪能される利用者さんもいました。美味しいラーメン、ごちそうさまでした。

(記事 吉田 一絵)



衣料訪問販売

7月28日、衣料の訪問販売が開催されました。多くの利用者さんが待ち望まれている人気行事で、MKマルコシ様の全面協力の下、フェイスシールド・マスク・手袋などの感染対策の協力も密にならないようフロアごとに買い物をして頂きました。特に女性の皆さんは、真剣に品定めされ、試着をしながら、時間をゆつたりと思っ存分使って購入されていました。次回は冬季に向けて11月に開催を予定しています。

(記事 前 賢太郎)



田村ユキエ様



8月5日、田村ユキエ様の100歳のお祝を行いました。略歴紹介、賞状の授与、記念品贈呈、ケーキをプレゼント。ご家族からは素敵な上着や、お洒落なアート電報、お花が届きました。感染対策のため、みんなが誕生日の歌を歌うことは出来ませんでした。田村さん！100歳おめでとうー」とみんなでお声掛けしています。ご本人からは「嬉しくて涙が出るわ」とのお言葉をいただきました。大変喜ばれていました。

(記事 宮本 大輝)



大正10年8月5日
青森県にて出生。
樺太から豊頃町に移り住み畑作を営んでいました。
平成21年12月信楽苑に入所。

大正10年の出来事

- ・三菱電機設立
- ・日本でメートル法交付
- ・桜クレヨン創業
(現サクラクレパス)
- ・ワシントン会議開催



臨坂光枝様



8月17日、2階フロア食堂で、臨坂光枝様の100歳の誕生日会を開催しました。賞状の授与から始まり記念品の贈呈、職員からは色紙のプレゼントがありました。ご本人から「家族に恵まれ、そして今日、皆様にお祝いしていただき、こんなに幸せな事はありません、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします」と、年齢を感じさせない堂々としたスピーチがありました。いつまでもお元気でいってください。

(記事 田名部剛士)



大正10年8月17日
北見町にて出生。
小学校教員や保険会社で勤務をしていました。
平成27年2月信楽苑に入所。

カラオケ慰問団体 きらきらどんぐり



「自分達だけでカラオケを楽しむのではなく、みんなにも楽しんでもらいたい」という利用者さんの熱い思いにより慰問団体『きらきらどんぐり』が誕生しました。

徳光留美子様が選出され、活動が開始されました。慰問実績はこれまで計4回。他の慰問団体と比べても遜色のない歌唱力や踊りのパフォーマンス♪活動を楽しみにされる方も徐々に増え、敬老会での慰問では、集客数約40名と大盛況でした。



（記事 山口 佳輝）
が来ることを楽しみにしています。



♪歌と踊りで会場は大盛況(^.^)



お散歩 ＆ パークゴルフ



外出や運動の機会が減っている中、気分転換&運動不足解消！をテーマに、苑周辺の短い距離ではありませんが、散歩の機会を設けてあります。また、天気の良い日には、パークゴルフでリフレッシュ。今年の夏は非常に暑く、まさに異常気象！体調面を考慮して、少しでも涼しい日や時間を見計らって、いざ出発GO！散歩される利用者さんは、色とりどりのお花を見て「このお花はコスモス、綺麗だね」等々、会話も笑顔も弾み、楽しいひと時となりました。

（記事 長崎 弥恵）

季節のおやつ

いただきます

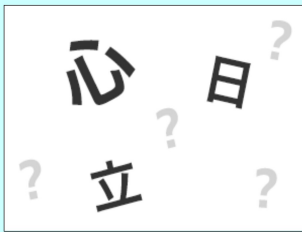


毎月1回実施している「おやつ提供」では、四季折々の甘味を提供しています。9月は、お彼岸。お彼岸と言えば「おはぎ」。美味しいおはぎを提供したい！そう思い、今回おはぎのレシピを一から見直しました。十勝産の小豆を朝から炊いて、適度な甘さと程よい塩気の、風味豊かな手作りおはぎになりました。丸める作業では、あかしあユニットの有志の皆さんにお手伝い頂きました。長年台所に立たれていただけあって、こういった作業では、年の功には敵いません！皆でわいわい、美味しく楽しい秋のひと時を過ごしました。

(記事 保科 慶子)



チャレンジ脳トレーニング



複数のパーツを組み合わせて一つの漢字を完成させましょう。
(漢字一文字で解答してください)

答えは編集後記で…

『生活改善』
今年の夏は大変暑かったですね。皆さまはどう過ごされていましたか？我が家は賃貸マンションの為、冷房がなく扇風機と氷枕と氷菓で涼をとっていました。仕事から帰ってシャワーを浴びると、いかにして扇風機の前から動かずに

過ごそうかと考える日々でした。テーブルの上で飲み物、食べ物、もちろんスマホ(かわいい猫のこのままではだめだなあ)と思いながら、今日まで来てしまいました。「ほのぼの」を書く事で、生活を直すきっかけが出来ました。まずは扇風機を掃除して片付ける事から始めようと思います。そのあとから運動しようかな？

ちよつと…(ほのぼの)

(記事 阿部 一美)



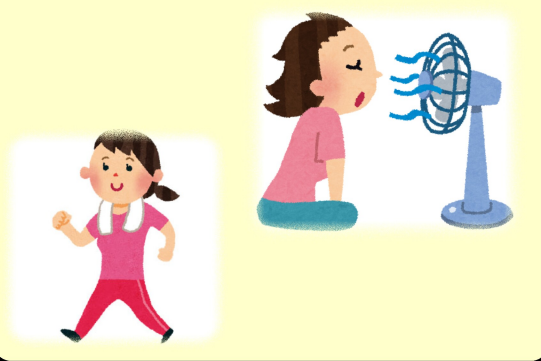
コロナ版避難所運営ゲーム (HUG) で様々なことを想定

コロナ対策訓練

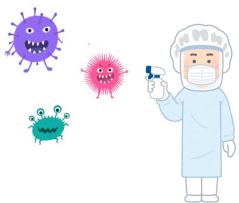
9月2日と6日に、新型コロナウイルス発生時の初動対応訓練と感染症対応を想定したHUGを行いました。地震などの災害とは異なり「クラスター」と呼ばれる感染症蔓延状況では、施設外からの支援を受けることができません。その為、蔓延させないための初動が抑え込む成否を握ります。訓練では、普段利用している感染予防用品の使用方法を再確認すると共に、感

染を広めないための着脱順番の確認を行いました。HUGでは、体調不良者が発生したと想定し、時間の経過と共に発生する出来事を確認しました。感染が広がっているユニットへの食事提供や職員の勤務調整、一日に何度も行わなければならない消毒、保健所からの問い合わせ、マスク3対応など想定されることへの対応を確認しました。引き続き、感染症蔓延予防に努めて参ります。

(記事 石山 智一)



防護服着脱動作、確認しながら慎重に



編集後記

サツマイモが美味しい季節になりましたね。サツマイモには食物繊維が多く含まれているので、食べると糖分が発酵し腸内にガスが発生しやすくなるそうです。皮には糖分を分解する酵素が含まれているため、一緒に食べるとある程度オナラの発生を抑えることができそうですよ。

脳トレーニング

答え:「意」
(編集長 瀧本美実子)